

〔科目名〕 経済導入演習	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目												
〔担当者〕 青山直人、河野秀孝、樺克裕、國方明、 七宮圭（あいうえお順）	〔オフィス・アワー〕 各教員より別途指示があります。	〔授業の方法〕 講義・演習												
〔科目の概要〕 1 年次の春学期に「経済学基礎論」で経済学の入門的基礎固めが終了したみなさんは、これから経済学のさまざまな専門科目を学んでいくことになります。経済学が取り扱う問題はきわめて多岐にわたっており、その内容も高度です。したがって、将来どのような方向を目指して学習を進めていくのかをある程度見定めておかないと、大海原の中を無駄に漂流する如くなる恐れがあります。本演習は、目前にどのような世界が広がっているかを少しでも垣間見てもらうために準備されています。言い換えれば、本演習は経済学科の専門科目群を学んでいくための動機付けの役割を担っています。 さまざまな専門分野を持つ 5 人の担当者が、それぞれの専門分野に関連するトピックで演習を行うことにより、学生諸君の知的好奇心をできるだけ高めることを目的にしています。各担当者は 3 回の演習を担当し、ローテーションをすることによって合計で 3 回×5 人＝15 回の演習が行われます。なお、担当者の担当順序はクラスによって異なります。														
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け）・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 経済導入演習は、各教員の専門分野の入門編として授業が展開されます。内容は、2年生以降の専門科目と関連するものも多いので、今後の各自の履修モデルの構築(授業科目の選択)に多いに役立つはずです。 また、2年生秋学期以降は、経済演習が始まります。経済演習では、各教員の専門分野を基に、学生が演習の所属を自ら決めていきます。その決定の際に、経済導入演習の授業内容は参考になることが多いと思います。														
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 経済導入演習で展開される各教員の専門分野の入門編の授業を通じて、2年生以降、学生が主体的に履修モデルを決定し、経済演習 I の所属決定に際して、ゼミの内容について理解した上で、自発的に決定できるようになることがこの科目の目的です。														
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 クラスごとに授業のローテーションが異なるので、授業でローテーションについて示したいと考えています。また、採点基準についても各教員から明示します。														
〔教科書〕 各教員より指示があります。														
〔指定図書〕 各教員より指示があります。														
〔参考書〕 各教員より指示があります。														
〔前提科目〕 特にありません。														
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 各教員が3クラス統一の基準で評価します。 教員毎の評価を合算して、全体の評価とします。														
〔評価の基準及びスケール〕 <table border="0"> <tr> <td>評 価</td> <td>得点比率</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>80% ～ 100%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>70% ～ 80%未満</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>60% ～ 70%未満</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>50% ～ 60%未満</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>			評 価	得点比率	A	80% ～ 100%	B	70% ～ 80%未満	C	60% ～ 70%未満	D	50% ～ 60%未満	F	50%未満
評 価	得点比率													
A	80% ～ 100%													
B	70% ～ 80%未満													
C	60% ～ 70%未満													
D	50% ～ 60%未満													
F	50%未満													

担当教員：青山直人	〔テーマ〕 環境経済学への招待
	〔オフィス・アワー〕 初回の授業で連絡します。
	〔演習概要〕 私たちが直面している環境問題は、汚染問題から廃棄物問題、気候変動問題、生物多様性の劣化など多様な領域にわたり、空間的スケールにおいては地域的規模の問題から国際的規模、地球的規模の問題まで広域化し、深刻化しています。この多様で重層な環境問題を解決するためには、環境問題の発生原因とメカニズム、環境政策の基礎理論、環境の価値評価について考える必要があります。本演習では、環境問題の発生原因とメカニズムに関する基礎理論を紹介します。
	〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等） 授業内の小テスト（もしくは、課題）で評価します。詳細は授業内で連絡します。
	〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 経済学的な考え方をもとに環境問題へアプローチします。本演習を通じて、環境問題に対する興味や関心を高めてほしいと思います。
	〔実務経歴〕 該当なし。
	〔教科書〕 なし。
	〔その他〕 なし。
担当教員：河野秀孝	〔テーマ〕 諸外国との貿易（論理的思考の楽しさ）
	〔オフィス・アワー〕 毎週、木曜日を除く（月、火、水、金の）5限目、他の時間は電子メールにて連絡ください。
	〔演習概要〕 まず、貿易論の基本であるリカード以来の古典的貿易論と昨今の論理的発展を概観します。次に、幾つかの分析の枠組みを例にとり、皆さんに <u>体系的論理的思考の重要性</u> を認識して頂きます。 また、さらに一見すれば正しいまともな議論と思われるものの中にも、必ずしも説得力が充分であるとはいいい難い議論が含まれていることにも気づいてもらえると思っています。 昨今、説明責任の重要性が認識される中、論理的思考のセンスを身につけることは、官民間わず、ますます重要になって来ると考えます。講義を通して、 <u>論理的思考の楽しさ</u> を、少しでも味わって頂ければと思います。 最終講義では、論理の眼鏡を通して、日本経済を取り巻く幾つかの貿易問題を例にとり、皆さんとの討論の時間を設けたいと考えております。
	〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等） 3回目の最終講義後に、与えられた（授業3回分の）課題をレポートとしてまとめ、一週間以内に、メール（学内のnebuta netの使用）で提出(kawano@b.nebuta.ac.jp)してください。総合評価はレポートで致します。
	〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 授業を楽しむためにも、議論・質疑の時間には、積極的に参加してください。
	〔実務経歴〕 メーカーでの実務経験を活かした授業になればと思っています。
	〔教科書〕 授業の前に講義資料配布します。
	〔その他〕 なし。

担当教員：樺 克裕	【テーマ】 財政学入門 政府の経済活動である財政について、基本から説明します。
	【オフィス・アワー】 授業中にお知らせします。
	【演習概要】 政府の経済活動である財政は、経済活動の中で、非常に大きな役割を担っています。この演習では、財政の基本的な仕組み、租税、予算、国債等の説明、地方財政等について説明し、テーマに沿って出題する課題を考えることで財政に対する理解を深めて貰います。
	【学修の課題、評価の方法】（テスト、レポート等） レポート課題で評価します。詳細は3回目の授業中に説明します。
	【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】 この授業は、科目の概要にもあります通り、今後の履修モデルや2年生秋学期から始まる経済演習Ⅰの選択に関して、概要を示す役割を担っています。 私の演習を通じて、現在の経済学的な（特に財政学的な）課題について、解説しますので、学生の皆さんには、経済学の理論だけでなく、幅広く社会に関心を持って頂ければと思います。
	【実務経歴】 各教員の実務経験を活かし、具体的な経済活動の場を見学し、現実感を持って経済活動を理解したり分析したりすることに興味を持ち、経済学への 学習意欲を高めることを目的とした授業です。
	【教科書】 ありません。授業は配布するレジュメに沿って進行します。
担当教員： 國方 明	【その他】
	【テーマ】 さいていとりひき 裁定取引の理論とその応用
	【オフィス・アワー】 場所は525号室です。日時は525号室の前に掲示します。
	【演習概要】 私が担当する3回では、裁定取引の理論という、素朴な経済理論を教えます。各回の主な内容は次の通りです。 第1回：まず、裁定取引の理論を構築する際の前提を紹介します。次に、裁定取引の定義を紹介します。最後に、裁定取引の帰結を紹介します。 第2回：第1回で述べた前提を手がかりにして、裁定取引の理論が現実になり立ちやすい財・サービスや、裁定取引の理論が現実になり立ちにくい財・サービスについて議論します。 第3回：裁定取引の理論を、為替レートの決定理論(購買力平価説)に応用します。
	【学修の課題、評価の方法】（テスト、レポート等） 私は皆さんを、授業内における活動・貢献に基づき、各回10点満点(3回合計30点満点)で評価します。具体的な評価項目と配点を、担当する1回目の授業で伝えます。なお、評価項目と配点どちらも、3つのクラスで共通しています。
	【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】 やむを得ない場合を除いて、欠席しないでください。もし、やむを得ない理由で欠席するなら、後日次の(1)と(2)両方を提出してください。(1)欠席届、(2)欠席理由を証明する書類。

	〔実務経歴〕 各教員の実務経験を活かし、経済学科の専門科目群を学んでいくための動機付けとそれぞれの専門分野に関連するトピックで演習を行うことにより知的好奇心を高める授業です。
	〔教科書〕 該当なし。
	〔その他〕 該当なし。
担当教員：七宮 圭	〔テーマ〕 経済学のための確率入門
	〔オフィス・アワー〕 509 研究室。曜日・時間は研究室前に掲示します。
	〔演習概要〕 統計学やファイナンスなどの経済学の科目で必要となる確率の基礎知識について講義します。
	〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等） 各授業終了前に実施する小テスト。 病気等により欠席した場合は欠席届を提出してください。
	〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 資料と黒板を使った講義を予定しています。 黒板の文字を書き写すことが目的ではなく、講義の内容を理解することが目的となります。
	〔実務経歴〕 なし。
	〔教科書〕 なし。毎回、資料を配布します。
	〔その他〕 なし。